

ジャズは友達 PART II

小川晋平 trio + 馬場智章 メンバープロフィール



■小川晋平 (b)

1994 年愛知県岡崎市出身。13 歳でエレクトリックベースを始め、ジャズの魅力に惹かれアコースティックベースに傾倒。島田剛氏に師事する。

大学入学時に上京し、納浩一氏にジャズ、瀬泰幸氏にクラシックを学びながら都内のライブハウスを中心に演奏活動をする。

大学卒業後、渡米し California Jazz Conservatory に入学。Jeff Denson 氏にジャズ、Scott Thompson 氏にブラジリアン、Sascha Jacobsen 氏にクラシックとタンゴを学ぶ。同校の選抜バンドとして海外ツアーに参加し、スイスのモントルー、イタリアのウンブリア、スコットランドのエディンバラなど世界中のジャズフェスティバルで演奏する。

Bob Kenmotsu、Akira Tana、Dann Zinn、Faye Carol、Azure McCall、Terrence Brewer、Erik Jekabson、Stacy Dillard、Steven Lugerner、Kev Choice、Martin Luther McCoy ら多数のミュージシャンと共演。

また自身のオリジナル曲をレコーディング、Noa Levy とのベース & ボーカルデュオアルバムのアレンジを担当するなど演奏だけに止まらず作曲家、編曲家としても活動の幅を広げている。

卒業後ニューヨークへ移り1年間の活動の後、帰国。東京に拠点を移し、日野皓正、小曾根真、Gene Jackson、黒田卓也、大林武司、TOKU、大坂昌彦をはじめ数多くのアーティストと共演するなど精力的に活動している。



■馬場智章 (sax)

1992 年、北海道札幌市生まれ。2005 年タイガー大越氏により開催された Berklee College of Music タイアップの北海道グループキャンプを受講し優秀賞受賞。2010 年、Terri Lyne Carrington (ds) が指揮する Berklee Summer Jazz Workshop のメンバーに選抜され奨学生として参加。2011 年、バークリー音楽院に全額奨学生として入学以来、Terri Lyne Carrington (ds)、Terrence Blanchard (tp)、Jamie Callum (vo, pf) 等のグラミーアーティストと共演。2016 年から 4 年間 "報道ステーション" のテーマ曲を自身も所属するバンド "J-Squad" で手掛け、UNIVERSAL MUSIC JAPAN よりアルバム J-Squad、J-Squad ii をリリースし Blue Note Tokyo、Fuji Rock Festival 17 などにも出演。ファッションブランド "TAKEO KIKUCHI" ともコラボレーションを行う。2022 年日本で初開催された "LOVE SUPREME JAPAN JAZZ FESTIVAL" に「DREM COMES TRUE feat. 上原ひろみ、Chris Coleman、古川昌義、馬場智章」、「aTak」、「Answer To Remember」の 3 バンドで出演。2023 年 2 月公開、大人気コミックスのアニメーション映画化『BLUE GIANT』で、主人公「宮本大」の演奏を担当。2020 年に自身初のリーダーアルバム『Story Teller』をリリース。2022 年 4 月、2nd アルバム『Gathering』をリリース。



■大林 武司 (p)

18 歳でジャズピアニストを志し、20 歳で渡米。

バークリー音楽院より奨学金最高額を受給し入学、在学中よりグラミー賞受賞ドラマー Terri Lyne Carrington バンドに加入しプロ活動を開始。

卒業後はニューヨークに拠点を移し、Takeshi Ohbayashi Trio、New Century Jazz Quintet を結成。Blue Note、Jazz At Lincoln Center、Jazz Standard などの主要ジャズクラブに数多く出演。

Takuya Kuroda、Jose James、Nate Smith バンドの中核を担い数多くのワールドツアーに参加。

2016 年にはジャズピアノの世界大会 Jacksonville Jazz Piano Competition において日本人初の優勝を果たす。

ストレートアヘッドジャズを専門としつつ、近年は J-Pop やクラシック界のトップランナーである Misia、Chris Hart、木嶋真優のプロジェクトにミュージックディレクターとして参加する等その活動は多岐に渡る。



■山崎 隼 (ds)

2001 年愛知県生まれ。デキシードジャズバンドでトランペットを吹く父、ドラムを叩く母の影響で 3 歳からドラムを叩き始める。9 歳でライブ活動を開始。中学校在学中はラテン音楽に没頭しラテン音楽 / ラテンパーカッションを VITO 氏、ブラジル音楽 / ブラジルパーカッションを石川智氏に師事する。また名古屋の老舗ジャズクラブ「Mr.Kenny's」のマスターでありフュージョンギタリストでもある、故倉谷明氏の紹介で様々なジャズ、フュージョンミュージシャンとの共演も重ねる。2018 年尚美ミュージックカレッジ主催の「高校生ソロプレイヤーズコンテスト 2018」にて最優秀賞を受賞。高校在学中より頭角を現し、全国各地でのライブ活動、アルバム参加、テレビ出演など活動の幅を広げている。2021 年には活動の拠点を東京へ移し、ジャズ、ポップス、フュージョン、ラテン、ブラジリアンなどジャンルを問わずセッションドラマー / スタジオミュージシャン / パーカシオニストとして活動。YAMAHA、Meinl、エンドーサー。



岡崎市図書館交流プラザ

<https://www.city.okazaki.lg.jp/libra/>

お問合せ先／

岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100

